※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	1＋1 単位	年次	２年次前期・後期
使用教科書	地理探究「新詳地理探究」　（帝国書院）						
副教材等	新地理の研究　（啓隆社）、新詳地理探究演習ノート（帝国書院）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地図での国や都市の位置関係を理解し、国同士のつながり、地形や気候の関係による様々な統計資料をしっかりと読み解く力をつけるように取り組んで欲しい。

２　学習の到達目標

a ： 現代世界の地理的認識を身につける
b： 現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察することができるようになる。
c： 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して，地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性，傾向性や関連する課題の発生要因について理解することで，現代世界の諸事象の地理的認識を深めている。 ○地図や地理情報システムなどの読み取りを通して，世界諸地域の特性とそこで発生する諸課題について理解することで，現代世界の諸地域についての地理的認識を深めている。 ○調査，討論，発表などの探究的な学習を通して，現代世界における日本の現状について理解することで，望ましい将来像についての認識を深めている。	○地理的事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらをもとに議論したりすることができる。	○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また，粘り強い取り組みを行う中で，自らの学習を調整しようとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に，世界諸地域や日本において見られる課題を主体的に追究，解決しようとしている。 ○地理的な課題への多面的・多角的な考察や深い理解を通して市民としての自覚を持つとともに，社会へ参画することへの意識が高まっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章 自　然 環境	地形 気候 日本の自然環境 地球環境問題	a：地形，気候，生態系などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，地球環境問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：地形，気候，生態系などに関わる諸事象について，場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：自然環境について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 確認ﾃｽﾄ 課題 討議･発表
	第2章 資源と産業	農林水産業 食料問題 エネルギー･鉱産資源 資源･エネルギー問題 工業 第３次産業	a：資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，資源・エネルギー，食料問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b：資源・エネルギーや農業，工業などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：資源，産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 確認ﾃｽﾄ 課題 討議･発表

※令和４年度以降入学生用

	第3章 交通・通信と観光・貿易	交通・通信 観光 貿易と経済圏	a:交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，交通・通信，観光に関わる問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸，観光などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:交通・通信，観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 確認ﾃｽﾄ 課題 討議・発表
	第4章 人口・村落・都市	人口 人口問題 村落と都市 都市・居住問題	a:人口，都市・村落などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，人口，居住・都市問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:人口，都市・村落などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:人口，村落・都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 確認ﾃｽﾄ 課題 討議・発表

※令和４年度以降入学生用

後期	第5章 生活文化 民族 宗教	衣食住 民族・宗教と民族問題 国家の領域と領土問題	a:生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象をもとに，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，民族，領土問題の現状や要因，解決に向けた取り組みなどについて理解している。 b:生活文化，民族・宗教などに関わる諸事象について，場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して，主題を設定し，それらの事象の空間的な規則性，傾向性や，関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:生活文化，民族・宗教について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 確認ﾃｽﾄ 課題 討議・発表
	第2部 現代世界の地誌的考察	地域区分 地域の考察方法 中国 韓国 ASEAN 諸国 インド 西アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南アフリカ EU 諸国 ロシア アメリカ合衆国 ラテンアメリカ オーストラリアとニュージーランド	a:いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，地域の結びつき，構造や変容などを地誌的に考察する方法などについて理解している。 b:現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 確認ﾃｽﾄ 課題 討議・発表

※令和４年度以降入学生用

	第3部　現代世界におけるこれからの日本の国土像	将来の国土の在り方 持続可能な日本の国土像の探究	a:現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し，持続可能な社会を目指すためには，どのような国土の在り方が望ましいかについて理解している。 ｂ:現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し，持続可能な社会を目指すためには，どのような国土の在り方が望ましいかについて，多面的・多角的に探究し，表現している。 ｃ:持続可能な日本の国土像の探究について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に探究しようとしている。	定期考査	定期考査	提出物 確認ﾃｽﾄ 課題 討議･発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度